

平成22年度

事業概要



中部森林管理局

平成22年4月26日

写真: 剣岳(富山森林管理署管内 ブナ坂国有林)

問合わせ先: 中部森林管理局 総務課 広報

TEL 050-3160-6513 FAX 026-236-2733  
URL <http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>

# 目 次

1	基本方針	1
	○ コンクリート社会から木の社会へ	
2	公益的機能の持続的発揮	3
	○ 森林の公益的機能の持続的発揮や地球温暖化の防止	
3	生物多様性の保全	5
	○ 貴重な森林生態系等の保全・管理	
4	木材の安定供給及び利用の推進	7
	○ 木材の安定供給や利用の推進等	
5	地域の森林・林業を支える取組	8
	○ 森林・林業の担い手の育成や施業の集約化等	
6	地域振興等への寄与	9
	○ 国民が森林とふれあう場等を整備・提供することなどを通じた地域振興等への寄与	
7	技術の向上や人材の育成	10
	○ 森林施業技術等の開発・普及や人材育成のための研修等の実施	
8	透明性の高い形での国有林野の管理経営の推進	11
	○ 国民との双方向での情報の受発信による透明性の高い形での国有林野の管理経営の推進	
	参考資料 管内概要	12

# 1. 基本方針 ～コンクリート社会から木の社会へ～

## 森林・林業を巡る状況

我が国における森林・林業を巡る状況として、次のようなものが挙げられます

- ・ 森林の有する多面的機能の発揮に対する国民の期待の多様化・高度化
- ・ 利用可能な人工林資源の増大や世界的な木材需給の不透明さの高まり等による木材自給率の向上への期待
- ・ 木材利用の拡大による低炭素社会づくりへの期待

## 施策の方向性

平成21年12月に策定された「森林・林業再生プラン」において、今後の森林・林業施策の方向性として次のようなものが示されたところです

- ・ 森林の有する多面的機能の持続的発揮
- ・ 林業・木材産業の地域資源創造型産業への再生
- ・ 木材の効率的かつ多角的な利用の推進による低炭素社会づくりへの貢献
- ・ 国有林の有する技術力を活かしたセーフティネットの構築

## 中部森林管理局としての取組

# 中部森林管理局としての取組方針

○ 公益的機能の維持増進を旨として、「国有林野の管理経営に関する基本計画」(平成20年12月)や「森林・林業再生プラン」(平成21年12月)を踏まえた管理経営や民有林との連携を推進します

- 中部森林管理局では富山県、長野県、岐阜県、愛知県の森林243万haの約3割を占める66万haの国有林野を管理経営しています管内の国有林は、都市近郊から日本アルプスの山岳地帯まで幅広く分布し、その多くは急峻な脊梁山脈や重要な水源地に位置していることから、山地災害の防止や下流域への良質な水の供給等に大きな役割を果たしています

管内各県の国有林の分布状況



管内の国有林野の特徴に着目し3つの交流をキーワードに取り組み

～水の交流～ 命の源である水を育み国土を保全する森林を上下流が連携して守り育てる取組を積極的に進め、各流域における水を通じた交流を推進します



漁民の森林づくり  
(愛知所)

～木の交流～ 地球温暖化の防止や循環型社会の構築に向け、民有林関係者との連携による木材の安定供給及び公共施設への木材利用や地域材を利用した木造住宅の建築促進などの要請により、生産者から消費者までの木を通じた交流を推進します



地域材利用の拡大変請活動  
(名古屋事務所)

～人の交流～ 地域との協働や連携を図りながら、森林の特性を踏まえた森林とのふれあいや森林づくりなどの各種活動を通じて人の交流を推進します



雲ノ平におけるボランティア等による植生復元活動(富山署)

## 2 公益的機能の持続的発揮

○管内の国有林野は、「日本の屋根」と呼ばれる日本アルプスを中心とした脊梁山脈や重要な水源地に広く分布していることから、安全・安心な国土管理の要として、国土保全・水源かん養・地球温暖化の防止等に果たす国有林野の役割や国民の期待等を踏まえ、森林の公益的機能の持続的発揮や地球温暖化の防止に取り組めます

### ①国土保全や地球温暖化防止等に資する健全な森林づくりー 森林整備事業等

◆ 山地災害の防止、水源かん養等の公益的機能の発揮に加え、森林吸収目標1300万炭素トンの達成に向けて吸収源としてカウントできる森林を効率的かつ確実に増やすため、森林整備事業等による間伐等の着実な実施に努めるとともに、長伐期化、天然力を活用した針広混交林化など、多様で健全な森林づくりを推進します

◆ 木曽ヒノキの保存を図るため、その成立過程や再生に向けた考え方についての有識者の意見を踏まえつつ、天然更新を主体とした施業計画の検討を行います



木曽ヒノキの施業計画の検討(木曽署)

### 22年度 主な事業量

(単位:ha)

区分	植付	下刈り、 つる切り等	間伐
平成20年度当初	40	5,469	6,891
平成21年度当初	79	4,528	8,009
平成22年度当初	59	4,083	6,644

森林整備  
予定事業量



列状間伐の実施(飛騨署)

### ②森林整備や木材利用を進めるための路網の整備ー 林道事業

◆ 間伐などの森林整備に必要な路網を計画的に整備するとともに、間伐材の搬出・利用を図る利用間伐の拡大に積極的に取り組むため、開設コストの低い作業道などを主体とした路網の整備を加速化します

◆ 「農林水産省木材利用推進計画」に基づき、森林土木工事等において間伐材等の木材利用の拡大に努めます

#### 路網整備の加速化

(単位:km)

区分	林道新設	作業道
平成20年度当初	3.2	11.6
平成21年度当初	3.2	9.1
平成22年度当初	3.4	13.3

・平成21年度 9.1km



・平成22年度 13.3km (前年度比146%)



スギの間伐材を利用した法面基礎部の土留工(木曽署)

### ③国民の安全・安心の確保のための国土保全対策－治山事業

#### 22年度 主な事業量

区分	溪間工(基)	護岸工(m)	山腹工(ha)	集排水ボーリング (地すべり防止工) (m)
平成20年度当初	148	276	72	4,319
平成21年度当初	137	432	60	895
平成22年度当初	63	165	72	2,331

#### 荒廃地の早期復旧等

- ◆ 国有林と民有林が連携して流域全体の保全を通じた国土保全を図るため、管内の国有林野の94%を保安林として指定し、間伐等による災害に強い健全な森林づくりを進めるとともに、集中豪雨や地震等により発生した崩壊地等を治山施設の整備により早期に復旧し、下流への被害を未然に防止します

#### 木材利用の推進や生物多様性保全等に配慮した対策

- ◆ 間伐材等木材利用の推進や、溪流生態系の保全に配慮した工種・工法の開発・導入等に積極的に取り組めます

#### 大規模災害発生時の迅速な対応

- ◆ 大規模災害発生時は、ヘリコプターの活用等により、調査や応急対策、復旧計画の策定、復旧事業の実施など迅速に対応します

#### 荒廃した森林・林地を治山施設の整備により早期に復旧(東信署)



崩壊直後



復旧後

#### 木製治山施設の導入



カラマツの間伐材を利用した土留工  
(伊那谷総合治山事業所)



溪流の保全に配慮した工法  
(中信署)

#### 災害発生時の迅速な対応



災害現地における踏査、測量等  
(南信署)

### 3 生物多様性の保全

○ 貴重な森林生態系等を国民共通の財産として適切に保全・管理するための取組を推進します

#### ① 保護林など優れた自然環境を有する森林の保全・管理

- ◆ 保護林の適切な保全管理や機能評価のためのモニタリング調査(35箇所)を実施します
- ◆ 緑の回廊(4箇所)について野生動植物の生息・生育状況を把握するためのモニタリング調査を実施します
- ◆ 森林生態系を保護するため、帰化植物の除去作業など、NPO等と連携した保護活動を実施します(立山、乗鞍岳)
- ◆ 木曾駒ヶ岳や雲ノ平における高山植物の復元活動や長野県西部地震災害復旧地における自然再生事業等を、NPOやボランティア等と連携して実施します(富山署、木曾森林環境保全ふれあいセンター)



ボランティア等と連携した高山植物の復元活動  
(木曾駒ヶ岳、ふれあいセンター)

#### ② 希少な野生動植物種の保護管理

- ◆ 北アルプス及び御岳においてライチョウの生息調査及び生息地の巡視を実施するとともに、乗鞍岳においてライチョウへの影響が懸念されるイノシシの生息実態と高山植物の被害状況を把握するための調査を実施します
- ◆ 東信地域においてイヌワシの生息地の巡視や餌場確保のための空閑地整備を実施します
- ◆ 東信地域においてアツモリソウの生育地の巡視を実施します



ライチョウのつがい(穂高岳)



イヌワシの餌場確保のための空閑地整備(東信署)

#### ③ 利用者等への啓発活動

- ◆ 立山や乗鞍岳など管内百名山を中心に、グリーンサポートスタッフ等による利用者等への啓発活動等を実施します  
\* グリーンサポートスタッフ(GSS: 森林保護員)  
植生の荒廃等の状況把握や利用者へのマナーの啓発活動等を行うことを目的に  
平成18年度から開始



八ヶ岳での啓発活動  
(東信署)

#### ④野生鳥獣との共存に向けた取組

- ◆ 南アルプス、八ヶ岳、美ヶ原、浅間、霧ヶ峰の5地域において、モニタリング調査による生息状況の把握、多様で健全な森林整備や人里との間での緩衝帯の設置等による生息環境の改善、ワナ等による個体数調整等を、地元シカ被害対策協議会等との協働により総合的に実施し、鳥獣との棲み分け・共存を可能とする地域づくりに取組みます

具体的には

- ・ 南アルプス食害対策協議会との協働による高山植物の保護を目的とした防護柵の設置やワナ等による捕獲
- ・ 御柱の森づくり協議会との協働によるモミの食害防止ネットの設置などの事業に取り組めます



森林官等によるワナの設置  
(南信署)



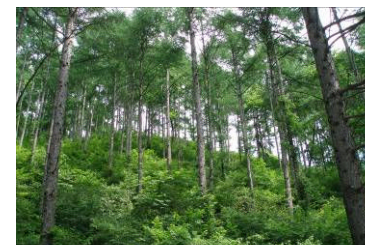
高山植物を保護する防護柵  
の設置(南信署)

#### ⑤多様な森林づくり

- ◆ 適切な間伐の実施、長伐期化、針広混交林化など、地域の森林の現況に基づき、豊かな自然環境を支える多様で健全な森林づくりを推進します



間伐により林内に光が入った様子(岐阜署)



間伐による豊かな下層植生の導入  
(東信署)

#### ⑥森林環境教育の推進

- ◆ 学校等が体験活動等を実施するための「遊々の森」や学校分収造林の設定・活用等を通じて、教育関係機関、NPO等とも連携し、森林環境教育を推進します

具体的には

- ・ 小中学生等を対象とした「出前授業」や森林体験教室、親子森林探検隊等の開催
- ・ 定光寺自然休養林(愛知県瀬戸市)等をフィールドとした、森林の働きや木材利用等をテーマとした「森林ふれあい講座」の開催

などの事業に取り組めます

- ◆ 農山村における体験活動との連携を図りながら、広く都市部等の子供達を対象として、自然観察や森林・林業体験などの森林環境教育に適した国有林野を「学習教育林」として活用する、森林・林業体験交流促進対策を実施します(北信署)



大学生との共同企画による森林環境教育の実施(南信署)



## 4 木材の安定供給及び利用の推進

○ 間伐等の推進を通じて生産されるカラマツなどの一般材や管内の特産樹種である「木曽ヒノキ」をはじめとする高品質材等について、それぞれの樹種の特性や需給動向等に応じて計画的に生産・販売するとともに、民有林関係者との一層の連携により木材の安定供給や利用の推進等に取り組めます

### ①木材の効率的な利用のための利用間伐の推進

◆ 木材の効率的な利用及び安定供給のため、間伐材の搬出・利用を図る利用間伐の推進に取り組めます



高性能林業機械による間伐材の伐採・搬出  
(南木曽支署)



間伐材の安定的な供給  
(南木曽支署)

利用間伐の推移

	ha		
	間伐(全体)	うち利用間伐	割合
平成20年度当初	6,891	2,069	30%
平成21年度当初	8,009	2,263	28%
平成22年度当初	6,644	2,374	36%

### ②需給動向等に応じた計画的な生産・販売の推進

◆ 木材需給や木材産業の動向などを的確に把握し、これに対応した林産物の供給や新規需要の開拓などにより、戦略的な生産・販売を推進します

◆ 間伐等に伴い生産される一般材や低質材を安定的かつ円滑に販売するため、透明性を重視した企画競争によるシステム販売の協定を締結し、計画的な販売を促進します

◆ 木曽ヒノキなど特産樹種については、市場動向等を踏まえつつ、継続的な供給に取り組めます

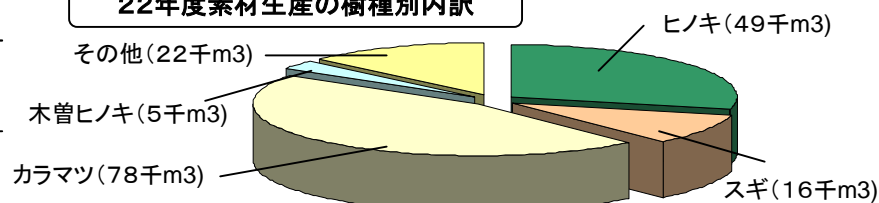
◆ 各県における協議会等を通じた民有林関係者との一層の連携により、木材の安定供給に取り組めます

### 22年度 主な事業量

(単位: 千m<sup>3</sup>)

区分	伐採量			販売量	
	主伐	間伐	計	素材	立木販売
平成21年度当初	67	574	640	150	60
平成22年度当初	93	544	637	170	65

### 22年度素材生産の樹種別内訳



### ③公共施設やバイオマス等としての木材利用の推進

◆ 木材の利用促進を図るため、庁舎や森林土木工事等における間伐材等の積極的な利用や、広く消費者の皆さんに木材利用を呼びかける取組を推進します

◆ 「持続可能な経営から生産された合法的な木材」の利用を拡大するため、庁舎等の新改築時に合法木材を利用すること等に取り組むとともに、国有林材が合法・持続可能な木材であること等をPRします

廊下壁面の木質化  
(局庁舎)



改修前



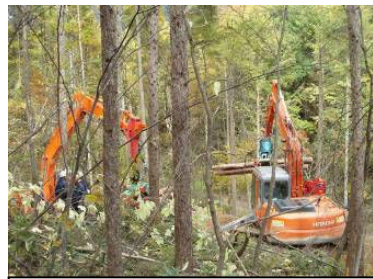
改修後

## 5 地域の森林・林業を支える取組

○木材の安定供給等を通じた森林・林業の再生に不可欠な担い手の育成や、効率的な森林整備等を進めるための施業の集約化など、地域の森林・林業を支える取組を推進します

### ①低コスト・高効率作業システムの普及・定着

- ◆各署等の素材生産請負事業地における現地検討会等により、地形・林況等に応じて路網と高性能林業機械等を組み合わせた低コスト・高効率作業システムの普及・定着に取組みます
- 低コスト・高効率作業システムの取組  
平成21年度 10署等33件の契約で取組  
平成22年度 10署等52件の契約で取組み予定→普及・定着の推進



高性能林業機械の活用(東信署)



検討会の実施(木曾署)

### ②技術指導等による林業事業者の育成

- ◆林業関係者と建設業者の双方が一体となって森林づくりや林業生産活動に取組む活動(林建協働事業など)の動向も踏まえ、新規林業参入者等に対してチェーンソーによる伐木造材作業等の技術指導を行うことや、林業事業者育成協議会を通じた各県との情報交換等により、民有林行政とも連携して林業事業者の育成に努めます



新規林業参入者への技術指導  
(森林技術センター)



### ③森林施業の共同団地化等による森林整備の推進

- ◆民有林と国有林が混在している地域等において、スケールメリットを活かした、より効率的な森林整備を進めるため、地方公共団体等との森林整備の推進等に関する協定の締結や、これに基づく民有林・国有林が一体となった「森林共同施業団地」の設定等に積極的に取組みます  
(右の写真は、中信森林管理署管内の松本市奈川地区での取組の様子)



森林整備推進協定の締結  
(平成22年3月、中信署)



民有林・国有林関係者合同での現地見学会(中信署)

## 6 地域振興等への寄与

○ 多くの国民の皆さんが森林とふれあう場等を整備・提供することなどを通じて、地域振興等への寄与に努めます

### ①森林とのふれあいの場の提供

#### ◆ レクリエーションの森の整備・活用

- ・ 自然休養林等のレクリエーションの森について、地元協議会との連携・協力やサポーター制度の導入等による民間活力の活用により施設整備等に取り組むとともに、これらを広く国民に保健休養の場として提供し、住民の福祉の向上や観光等地域の振興に貢献します
- ・ 枯損木等による事故防止のため、点検や標識の設置等による利用者の安全確保対策を施設管理者と連携して行います
- ・ レクリエーションの森を安全で快適かつ効果的に利用するため、局ホームページ等を通じた情報提供の充実に取り組みます



赤沢自然休養林  
バリアフリー歩道  
(木曽署)



FFG(カヤノ平自然休養林・  
北信署)

- ◆ 利用者の創意工夫による多様な森林空間利用を進めるため、北信地域において「森林ふれあい基地づくり整備モデル事業」(ファミリー・フォレスト・ガーデン(略称:FFG))を実施し、多様な形で森林とふれあう場の提供及び利用者の活動支援に取り組めます

### ②森林づくり活動等のフィールド提供

#### ◆ 森林の整備・保全等への国民参加の推進

- ・ 企業やNPO法人等による国民参加の森林づくりや社会貢献活動等を推進するため、「ふれあいの森」や「遊々の森」等の設定によるフィールドの提供や活動の支援等に取り組めます
- ・ 森林とのふれあいや森林づくり活動、自然環境保全活動等への参加を希望する都市住民の皆さんを対象として「名古屋シティ・フォレスター事業」を開催します



「宮国有林ふれあいの森」における  
森づくり活動(飛騨署)



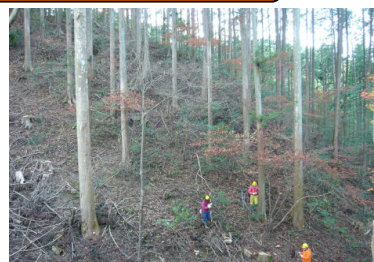
名古屋シティ・フォレスター事業  
(東濃署)

## 7 技術の向上や人材の育成

○ 森林に対する多様化・高度化するニーズに対応するため、大学等とも連携して、森林施業技術等の開発・普及や人材育成のための研修・技術検討会等を実施します

### ① 森林の公益的機能を持続的に発揮するための森林施業技術等の開発・普及

- ◆ 森林の公益的機能の持続的発揮を図るため、地域の特色やニーズを踏まえた森林施業法や路網作設法等の技術の開発・普及に計画的に取り組めます



長伐期施業のための現地調査  
(岐阜県との共同研究、森林技術センター)



路盤支持力の測定  
(森林技術センター)

### ② 研修や技術検討会等を通じた職員の能力向上や綱紀保持の徹底

- ◆ 「国民の森林」の管理経営にふさわしい人材を育成するため、森林・林業に関する専門的な知識や技術、関係法令等の習得を図るための各種研修や現地検討会等を実施します



作業道作設の現地検討会(東濃署)



造林事業の現地検討会(中信署)

### ③ 大学等との連携による最新の学術的知見の導入

- ◆ 平成22年3月に中部森林管理局と信州大学農学部との間で、日本アルプス(飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈)及びその周辺山地の森林における生物多様性の保全等を担う人材の育成やこれらに関する学術の振興に関して連携・協力を進めるための協定を結んだところであり、今後これに基づき最新の学術的知見の導入を図り、生物多様性の保全等の取組をさらに進めます



人材育成等の協定の締結(信州大学農学部)

## 8 透明性の高い形での国有林野の管理経営の推進

○ 国民の皆さんとの双方向での情報等の受発信により、透明性の高い形での国有林野の管理経営を進めます

### ① 森林計画の策定における地域に根ざした幅広い情報等の反映

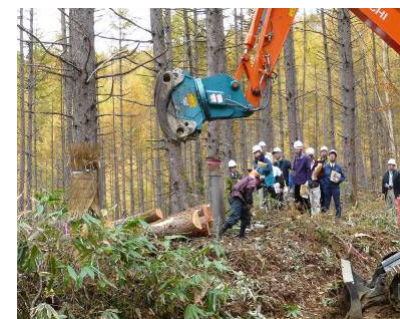
- ◆ 森林計画の策定の前に、地域の皆さんとの懇談会の開催やホームページ等による計画案に対する意見募集を実施し、地域に根ざした幅広い情報や国有林に対する要請を森林計画に反映させるよう取組みます

策定した計画については、ポイントを分かりやすく取りまとめた概要版をホームページに掲載し、広く国民の皆さんに発信します

- ◆ 地域の森林・林業、自然環境等の地域情報に精通した方を「国有林アドバイザー」として委嘱し、国有林野事業の運営等に関する情報の提供や助言をいただき、地域の特性に応じた国有林野の管理経営に反映させます



地域住民との懇談会の開催  
(尾張西三河森林計画区：瀬戸市・愛知所)



懇談会における現地見学会の実施  
(中部山岳森林計画区：松本市・中信署)

### ② 国有林モニター制度等を通じた国有林への要請等の反映

- ◆ 一般公募により選定した「国有林モニター」を対象とした国有林の取組等に対するアンケート調査の実施や現地視察会・モニター会議の開催等により、国有林に対する要請を把握し、管理経営に反映させます



国有林モニター会議(中信署)

### ③ 各種委員会を通じた透明性等の確保

- ◆ 発注者綱紀保持委員会や入札監視委員会、その他の各種委員会における外部有識者等による審議や意見聴取等を通じて、中立性・透明性の高い形での工事等の入札の執行や契約の適正化、その他の事務・事業の適正な実施を図ります



入札監視委員会(局)

# 参考資料

## 管内概要

### ○ 人工林・天然林別の機能類型別面積 単位:千ha

機能類型区分	細 分	合 計					
		人工林		天然林		計	
			率		率		率
水土保全林	国土保全タイプ	48	7	201	31	263	40
	水源かん養タイプ	109	17	42	6	153	23
	計	157	24	243	37	416	63
森林と人との共生林	自然維持タイプ	0	0	115	18	188	29
	森林空間利用タイプ	12	2	23	4	40	6
	計	12	2	138	21	228	35
資源の循環利用林		11	2	0	0	12	2
合 計		180	27	382	58	655	100

- ① 平成22年3月31日現在 森林調査簿データによる
- ② 四捨五入により単位以下となるものは0表示
- ③ 計の欄にはその他(高山帯、林道敷等)の面積が含まれる
- ④ 項目ごとの単位以下四捨五入、及び上記③により計が一致しない場合がある

### ○ 保安林面積 単位:千ha

区分	面積
保安林	623

\* 平成22年3月31日現在 保安林台帳面積による

### ○ 緑の回廊 単位:千ha

名称(箇所名)	面積
越美山地	7
白山山系	24
雨飾・戸隠	4
八ヶ岳	6
合 計	40

- \* 平成22年3月31日現在 森林調査簿データによる
- \* 項目ごと単位以下四捨五入のため計が一致しない

### ○ 保護林面積 単位:千ha

区 分	箇所数	面積
保護林	143	102

\* 平成22年3月31日現在 森林調査簿データによる  
(県別箇所数の集計のため、重複(2箇所)を含む)